

「域学連携」地域づくり支援事業の事例①

長崎県

県外大学と連携

地域おこし・
課題解決

- ・学生が1週間程度繰り返し(4~5回)現地に入り込み、地域の問題発見、解決を図ることを目的に、実地調査やワークショップ等を実施。
- ・把握した地域資源を活かした観光振興や産業振興に繋げる活性化方策を検討し、報告会にて提案。
- ・また、現地活動のほか、遠隔会議システムにより地域との交流を継続。
- ・当該取組の一部は、大学の単位として認定。



石川県能登町

県外大学と連携

地域おこし・
商品開発

- ・交流人口拡大や町内施設の有効活用、地理的条件を活かした振興策を策定・推進するために、学生が合同ゼミ合宿やフィールドワークの実施をとおして、町の特産品「ブルーベリー」を使った加工品づくりなど町活性化策等を考案し、提案。
- ・当該活動をとおして、大学と地域が互いに利益を得られる関係の構築を図る。



奈良県

県外大学と連携

地域おこし・
地域資源発掘

- ・大学、行政、地元NPO、地域住民と協働によるまち歩きやワークショップの実施や学生による町屋の活用方法についての実地調査を行うなどをとおして、景観やまちづくり推進にとって重要な地域資源活用の方向性やイメージ等を取りまとめ、提案。



長野県松川村

県内大学と連携

地域おこし・
観光

- ・松川村の観光資源のブランド化を目的に、「すずむしの里松川村」として観光資源である鈴虫に関するまち歩きのためのマップ作成を実施。
- ・学生からの目線によるマップ作成により、地元では見逃しがちな村の良さを表すことができた。
- ・また、作成の過程で学生が得た情報をもとにした地域おこしに係る提案などの報告会を今後予定。



「域学連携」地域づくり支援事業の事例②

福島県本宮市

県外大学と連携

農業・交流

- ・学生が春に田植えや野菜の苗植え除草作業を実施(1泊2日)し、夏には、畦畔の草刈や夏野菜の収穫体験等各種農作業体験を実施(2泊3日)し、秋には、稲や秋野菜等の収穫体験を実施(1泊2日)。
- ・連携先の大学の学園祭において、学生が携わった米や野菜の販売や本宮市産の米や野菜を使ったカレーや豚汁の販売等を行い本宮市のPR活動を実施。
- ・当活動を通して、地域内外での新たなつながりが構築されるとともに、地域の魅力の再発見にも寄与。



千葉県千葉市

県内大学と連携

子ども・教育

- ・市と大学の連携による子ども起業塾(アントレプレナーシップ教育)の実施をとおり、地元商店街のイベントの盛り上げを実施。
- ・当活動により、次世代の産業人材の育成、地元大学とのつながりの構築や参加した学生の社会人として必要な実行力や計画力といった能力を磨く場となっている。



福岡県飯塚市

県内大学と連携

子ども・福祉

- ・学生サポーター派遣事業として、小中学校の行事のサポート、高齢者施設での介護ボランティアや地域行事のボランティアを実施。
- ・学生が高齢者や児童と交流することで、地域との関わりを深め、地域住民の一員として一体的に活動。



北海道帯広市

県内大学と連携

環境・動物

- ・動物に関する研究や環境教育の充実・促進と魅力ある動物園としての活性化を目指し、地元の畜産大学と連携し、インターンシップや博物館実習、学生によるボランティア活動を実施。
- ・大学の専門性を活かした連携事業により、動物園側は学生による新たな視点での魅力向上を図れるとともに、学生にとっても専門的な知識の習得が可能となる。

